

科目 論理国語

单位数： 3 单位

使用教科書：（大修館書店 論理国語

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書 読					
1 学期	「贈り物としてのノブレス・オブリージュ」 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。 ・「贈り物」についての筆者の主張をふまえて、自己と他者について考える。 ・ワークシート等を用いる。			●筆者の語の定義をふまえ、文章の中での意味合いをとらえている。 ●文章が三段論法的な展開をしていると理解し、その効果をとらえている。 ●自己と他者の関係についての筆者の主張を理解し、自分の考えを深めている。 ●一般的な解釈と筆者の解釈の違いをとらえ、身の周りのことにも当てはめて考えを深めようとしている。	○	○	○	17
	「消費されるスポーツ」 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・具体例と筆者の主張との関係を的確にとらえる。 ・スポーツとメディアの関係についての考えを深める。 ・ワークシート等を用いる。			●「消費」「大衆」などの言葉がどのような意味で使われているかを理解している。 ●筆者の主張と具体例の関係を的確にとらえている。 ●「スポーツ」と「メディア」の関係について、筆者の考えを理解している。 ●「スポーツ」が「消費」されている状況や、「メディア」との関係がどのように述べられているかを積極的にとらえようとしている。	○	○	○	17
	定期考查					○	○		1
	「猫は後悔するか」 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解と深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	・問題提起と答えをつなぐ論理の展開を的確に読み取る。 ・現実世界を認識する上での言語の役割を理解する。 ・ワークシート等を用いる。			●問題提起、本論、結論という三段構成を理解している。 ●本論がどのように展開されているか理解している。 ●言語の役割についての筆者の主張を理解している。 ●論理の展開に注目して筆者の考えを意欲的に読み取ろうとし、自身の表現にも生かそうとしている。	○	○	○	8
	「多数決を疑う」 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、筆者の主張をとらえようとしている。	・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り主張を理解する。 ・意思決定のしぐみに興味を持ち、社会制度のあり方を考える。 ・ワークシート等を用いる。	○	○	●社会制度のあり方に関する言葉の意味を理解している。 ●多数決が人々の意見を集約する方法として問題があることを読み取り、「ボルダールール」などの代替案を理解している。 ●筆者の主張をふまえ、多数決が向く場面や向かない場面について考えている。 ●多数決の問題点や「ボルダールール」について調べ、実践することで考えを深めようとする。	○	○	○	7
	定期考查					○	○		1

2 学 期	「言語と他者」 【知識及び技能】 一般的な類義関係の語による言い換え、本文での関連付けによる言い換えの関係を的確に把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、前半と後半の役割の違いを利用して本文の内容理解に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 ことばと世界とのかかわり、を引用を交え異なる側面から検討する論の展開を粘り強く追い、理解する。	・筆者の論の展開のしかたや、表現のしかたに注意して読む。 ・言語と他者の関係について考えを深める。 ・ワークシート等を用いる。	○	○	●文中で言い換えられている語句を見つけ、語義を適切に理解している。「所有」から「共有」などのキーワードの変化に着目し、前半と後半を適切に区切ることができる。 ●「ことばによる世界の所有」と「(他者との世界の)共有」という対比に着目し、筆者の考えを整理している。 ●本文で示されている言語の側面の一つを取り上げ、それに関わらせて自分の考えを示している。 ●学習課題に沿って筆者の主張を読みとろうとしている。 ●本文や自分の経験を踏まえて言語の人間に対する役割を考えようとしている。	○	○	○	18	
	「無常ということ」 【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考 判断 表現】 「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って、筆者の思索の流れに注目しつつ、積極的に自分の考えを深めようとしている。	・筆者の思索の流れや論の展開のしかたをとらえる。 ・「美」「歴史」「解釈」などについて、自分の考えを深める。		○	●「…ばかりではなく、…かもしれない。」「…(な)のではない。…(な)のである。」といった表現の使い方を理解している。 ●本文中で挙げられている古典作品や人物について調べている。 ●「一言芳談抄」が筆者にもたらした影響や、筆者の「美」「歴史」「人間」についての考え方を読み取っている。 ●筆者が「現代人」と「無常」との関係をどのようにとらえているかをとらえている。 ●進んで文章の叙述をもとに要点を整理しようとしている。 ●筆者の歴史観に対して自分の意見をもとうとしている。	○	○	○	18	
3 学 期	大学入試問題演習		○	○	○		○	○	○	5
合計										75